

科目名	実践英語(スピーキング、ライティング) Practical English		担当教員 (研究室番号)	ドライデン いづみ (502)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	2年次後期	科目区分	教養・基礎科目		選択区分	自由	単位数(時間)	1(30)	授業形態	演習	科目等履修生	可
科目目的	多言語多文化共生社会において医療従事者として英語看護文献を読み、看護英語情報を聴いてその内容への応答方法としての英語スピーキング・ライティング能力の必要性を理解し、グローバル社会においてプロの看護師・医療従事者としての在り方、患者や患者の家族への対応・医療行為・人権・看護・医療状況を様々な視点から的確に判断できるようになる。											
ディプロマポリシー(DP)	主要なDP	C 多様な考え方や文化的背景を持つ人々の特徴に応じて、自らの看護活動の必要性や方法を説明するためのコミュニケーション能力を有している。(技能・表現)										
	関連するDP	A 人々の生命・尊厳・権利を尊重し、看護専門職者としての倫理観に基づいて行動することができる。(姿勢・態度) B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。(知識・理解)										
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療現場で起こりうる状況を想定して、問題解決策および将来展望を考察するためのデータベースの活用や文献収集方法を学び、自らの考えやイメージを英語で論理的に説明しエッセイ(論文)として執筆することができる。</li> <li>2. 医療分野の英語用語(看護師や医療従事者が使用する言葉・フレーズ)と日常で使用する英語用語(言葉・フレーズ)や、英語での話し言葉と書き言葉の違いを区別することで、アカデミックな英語表現について学び、英語でプレゼンテーションを行うことができる。</li> <li>3. 看護トピックのもとに、英語で発表することができ、英語でエッセイ(論文)を書くことができる。</li> </ol>											
成績評価方法(基準)	エッセイ(20%) 発表原稿・スライド(20%) プレゼンテーション(20%) 質疑・応答(10%) グループ・ディスカッションでの発表(10%) スピーチ(20%)											
再試験の有無と基準等	・無:エッセイ、発表原稿・スライド、プレゼンテーション、質疑・応答、グループ・ディスカッションでの発表、スピーチによって評価するため、再試は不可能。											
教科書	授業で資料を配布する(プレゼンテーション・ガイドブック及びリサーチ・ペーパー・ガイドブック)(紙媒体・PDF)。											
参考書等	授業中に適宜紹介する。											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	看護英語の力(聞く・読む・話す・書く力)をバランスよく身に付けながら、多言語多文化共生社会においてプロの看護師・医療従事者とはどうあるべきか、また医療問題の解決方法や医療状況の課題を考察する。また、チーム基盤型学習(TBL: Team Based Learning)やSNA(ソーシャル・ネットワーク・キング・アプローチ)を取り入れ授業を進めるので、チームのメンバーとして責任を持って積極的に自らの意見を発言し、グループ・ディスカッションに取り組むこと。											
備考	スピーキング・ライティング能力向上や語彙力強化のため、シャドーイング及びディクテーションを推奨する。課外学習として、担当教員研究室に設置の英語視聴覚教材(貸出可)を聴いたり鑑賞し、聴き取れた英単語やフレーズ、英語で感想文を記述・提出すると、エキストラ・ポイントとして成績評価に加算する(回数制限無し)。詳細は1回目授業にて説明する。何回かの授業でネイティブの学外協力者の話を聴く場合もある。											
回	学習項目	学習内容							主担当教員	授業方法		
1回	イントロダクション 看護トピックの設定・リサーチ(文献収集)	授業の進め方、配布資料、出欠席の扱い、成績評価に関する説明をする。チーム(グループ)を決め、チーム・ワーク(グループ・ディスカッション)の方法を説明する。「備考」欄に記載した課外学習についても説明する。エッセイの看護トピックを決める。トピックに関連した文献収集を始める。データベースやジャーナルを紹介する。							ドライデン	講義 演習		
2回	エッセイのIntroduction	配布資料(リサーチ・ペーパー・ガイドブック)でエッセイの構成方法を確認し、イントロダクションで各ボディー部分の内容を考える。リサーチ・ペーパー・ライティング用のフレーズ集から文章を使用する。イントロダクションを完成する(100語程度)。							ドライデン	講義 演習		
3回	エッセイのBody 1	配布資料(リサーチ・ペーパー・ガイドブック)でアカデミック・ライティングのルールや引用方法を確認し、イントロダクションで記述したボディー部分1の内容を収集文献を引用しながら、自らの考えを発展させる。ボディー部分1を完成する(200語程度)。							ドライデン	講義 演習		
4回	エッセイのBody 2	配布資料(リサーチ・ペーパー・ガイドブック)でアカデミック・ライティングのルールや引用方法を確認し、イントロダクションで記述したボディー部分2の内容を収集文献を引用しながら、自らの考えを発展させる。ボディー部分2を完成する(200語程度)。							ドライデン	講義 演習		
5回	エッセイのBody 3	配布資料(リサーチ・ペーパー・ガイドブック)でアカデミック・ライティングのルールや引用方法を確認し、イントロダクションで記述したボディー部分3の内容を収集文献を引用しながら、自らの考えを発展させる。ボディー部分3を完成する(200語程度)。							ドライデン	講義 演習		
6回	エッセイのConclusion	配布資料(リサーチ・ペーパー・ガイドブック)でアカデミック・ライティングのルールを確認し、イントロダクションで記述した内容を反映させながら、リサーチした文献から学んだこと・発見したことや胃オリジナルな視点の記述、将来展望・今後の状況予測を結論としてまとめる。コンクルージョンを完成する(100語程度)。							ドライデン	講義 演習		
7回	参考文献(APA style)の書き方	配布資料(リサーチ・ペーパー・ガイドブック)で参考文献の書き方を学び、収集した文献をAPA(American Psychological Association) styleのルールに従って整頓してエッセイの最終ページに記載する。図やグラフ等を使用した場合は、それらもAPA styleのルールに従ってエッセイに掲載する。エッセイを添削して完成する。							ドライデン	講義 演習		
8回	エッセイを発表原稿に変換する プレゼンテーション概要の作成	エッセイの重要ポイントや要点を抜き出し、配布資料(プレゼンテーション・ガイドブック)のフレーズを参考に、書き言葉から話し言葉へ変換していく。							ドライデン	講義 演習		

9回	プレゼンテーション原稿完成	配布資料（プレゼンテーション・ガイドブック）のプレゼンテーション構成方法やフレーズを参考に、プレゼンテーション原稿を完成する。原稿の添削と内容確認をする。	ドライデ ン	講義 演習
10回	プレゼンテーション・スライド作成	配布資料（プレゼンテーション・ガイドブック）のアドバイスを確認しながら、プレゼンテーション原稿の内容に最適な画像やイメージを探し、スライドを作成・完成する。	ドライデ ン	講義 演習
11回	プレゼンテーション・質疑応答練習	配布資料（プレゼンテーション・ガイドブック）のアドバイスを確認しながら、プレゼンテーション及び質疑応答練習をする。質疑応答フレーズを使用する。TED talksで英語のプレゼンテーションを視聴し、プレゼンテーションの技巧を学ぶ。	ドライデ ン	講義 演習
12回	プレゼンテーション・質疑応答	プレゼンテーション及び質疑応答をする。各プレゼンテーションに対してのコメント（良かった点・プレゼンテーションから学んだこと）をする。	ドライデ ン	講義 演習
13回	ディスカッション・意見交換	リサーチした文献内容やプレゼンテーション内容をもとに、今後のトピック、英語で話したり書いたりする際の注意点について討議する。配布資料のディスカッション用のフレーズを使用し、グループでディスカッションをする。	ドライデ ン	講義 演習
14回	スピーチ（意見を述べる）	看護トピックを決め、60～120語程度スピーチ内容を記述し、自らの意見を順序立てて明確に述べる。配布資料のスピーチ用フレーズを使用する。	ドライデ ン	講義 演習
15回	まとめ（今後の目標）	配布資料に記載の <i>American Journal of Nursing</i> やデータベースの論文タイトル・リストを参考にして、今後のエッセイやプレゼンテーションの看護トピックについて説明する。グループで今後のエッセイ・プレゼンテーション・トピックをディスカッションする。	ドライデ ン	講義 演習

学 習 課 題

1回目事前課題：エッセイの看護トピックについて考えておく。  
 2～15回目事前課題：配布資料の内容を毎回授業前に学習しておく。  
 1～15回目事後課題：配布資料や授業で学んだこと、グループでディスカッションした内容を思い出し、エッセイやプレゼンテーションの内容を考える。

実務経験を活かした教育の取組